

かわらばん

鳥取県保育士・保育所支援センター情報誌
第2号

鳥取県保育士・保育所支援センター
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5
(福祉人材研修センター内)
TEL 0857-59-6342
メール hoikucenter@tottori-wel.or.jp

鳥取県保育士・保育所支援センターより、保育園の紹介や、働きやすくなっている保育現場の変化などを盛りこみながら「かわらばん」に載せて、園の特徴や保育情報を発信していきます。

第2号は、H30年4月開園した「小規模保育園 ニチイキッズ吉成保育園」にお邪魔して小規模保育園について取材しました。

いつも元気な
竹内園長先生



園舎の奥の奥には
園庭もあります



小規模保育園
「ニチイキッズ吉成保育園」

《園長先生にお尋ねしました》

小規模園の魅力は
なんですか？

0～2歳までの子ども達とゆったりと関わり、過ごせることですね。子どもの定員数が、20人程度ということもあり、子ども一人ひとりにしっかり向き合う時間が持てます。

職員も、あうんの呼吸のようなものができていて意思統一もスムーズです。やり方は人それぞれありますが、同じ方向性で保育を行うのは大切なことですから。

吉成保育園の特権ですが、お隣さんは同じ事業主が運営する吉成第二保育園です。いつでも助けあうことができることは心強いですね。

感じている
課題は何ですか？

子どもの定員数が少ない分、当然ながら職員数も少ないです。仕事の役割分担は多くなりますが、園の規模も、子どもの月齢も、小さいながらも季節の行事を楽しむことは大切にしています。小さなうちから日本の四季折々の行事を肌で感じてほしいと思います。

保育士で
よかった！
と思うとき

忙しさは、何の仕事をしていても感じるものだと思いますが、すぐそばに子どもたちのかわいい笑顔や大きな成長という、癒しと喜びがあるのは保育に携わってこそ感じられる特権！です。保育士として頑張れるのは、そこですね。と回答をいただきました。



季節の食材を取り入れたおいしい給食



いただきます！

地域型保育事業とは



平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」。(以下、新制度)
「すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために。すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるために」というビジョンの元、新制度で新しく創設されたのが「地域型保育事業」です。

待機児童の多い0～2歳児のお子さんを、保育所や幼稚園などの施設(原則20人以上)より少人数の単位で預かる事業で、市町村の認可事業として創設されたものです。この事業により、待機児童が多い都市部や、子どもの数が減少している地域など、さまざまな状況に合わせて保育の場を確保することができます。()はH30年4月現在の、鳥取県内にある保育所等の数。

家庭的保育

家庭的な雰囲気のもとで、少人数(定員5人以下)を対象にきめ細やかな保育を行う(1園)



小規模保育

少人数(定員6～19人)を対象に、きめ細やかな保育を行う(32園)

事業所内保育

会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する(3園)

居宅訪問型保育

障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や、他に保育施設がない地域の場合などに、保護者の自宅で1対1の保育を行う(鳥取県には現在なし)

これら4つのタイプがあり、地域の実情に応じて保育の場が確保されます

保育士等就職支援セミナーの様子

《第1回》

米子市福祉保健センターふれあいの里にて開催



- ☞保育士・保育所支援センター職員による「保育に係る動向について」の解説
- ☞タムタムスクール実行委員会 会長ト蔵久子講師による「保育のやりがいについて」のお話をいただきました

参加者の感想

しっかりと自分の尋ねたかったことを聞くことができ、たくさん話をすることができました。楽しかったです。

さとに保育園 園長木村京子 講師による保育現場の様子や、平成30年4月に新しく施行された「保育所保育指針」について、お話いただきました

参加者の感想

日々の保育の写真を見たり、現場の話の話を聞いたりすることで、やっぱり保育士として働きたいなど改めて思いました。不安はありますが、頑張れそうです。



《第2回》

県立福祉人材研修センターにて開催